

平成31年度始業式あいさつ

2019.4.8

私は県東部にある普通科の高校から本校に着任しました。常盤高校は高校看護科が3年間、その後専攻科2年間の5年一貫教育で看護師免許が取得できる埼玉県唯一の専門高校だということは知っていましたし、昨年度のSPHの発表はすばらしかったと評判も聞いていました。実際まだ着任して1週間ですが、専門科目のカリキュラムや教えてくださる先生方も熱心ですばらしいということもよくわかりました。が、学校行事や部活動、校内の施設など、どこに何があるかなどということはまだよくわかりません。皆さんがよく知っていると思いますので、いろいろと教えてください。

先ほど私が普通科の高校からきたといいましたが、普通科高校の生徒たちは、入学してすぐから高校を卒業したら就職か、進学か、職業は何になりたいのか、大学はどこを目指すのかなど、自分の進路を考えます。その中で看護師の道を選んで看護系の大学や専門学校を受験する生徒も少なくありません。しかし年々その道は厳しくなり、なかなか合格できません。そのため高校3年生は必死で受験勉強をしています。

私も看護の学校を受けたいという生徒の面接練習を何人もしてきました。そのときに私は必ず質問します。「なぜ看護師になりたいのですか?」「どのような看護師になりたいのですか?」漠然としてとても難しい質問のようで生徒たちはあまり答えられませんでした。

皆さんはいかがですか? 皆さんは中学で看護師を目指したいと決め、難しい高校受験を乗り越えて本校に入学しましたね。1年生のときから専門科目を学び、知識と技能を修得してきました。その分、目標に一步一步着実に近づいていますよね。

さて、私からは平成31年度の始まりとして看護科の皆さんと専攻科の皆さんにそれぞれひとつずつお話をします。

看護科の皆さんにはぜひとも、高校生15歳から18歳の時期にしか学べないこと、たとえば国語、地歴公民、数学、理科、英語、体育、家庭、音楽などの一般の教科をしっかりと学ぶこと、部活動やボランティア活動をすること、社会のルールを学ぶこと、ニュースを見て世の中の動きをよく知ること、相手の気持ちになって行動すること、そして、好きなことをおもいきり楽しむこと、など、今でなければできないことに精一杯いっぱい取り組んでほしいと思います。

次に専攻科の皆さん、看護師を目指してより難しく専門的な内容になっていると思います。先生方は皆さんが国家試験を突破して看護師として飛び立つために全力で指導して下さいます。しかし国家試験がゴールではありません。自分の夢は何なのか、将来自分はどのような看護師になりたいのかよく考え、常盤高校の専攻科生として、後輩の手本となるよう自分自身を高めてください。機会がありましたらぜひ皆さんにどのような看護師になりたいかを聞きたいと思います。

私の話は以上です。1年間よろしく申し上げます。